

本ビジョン（案）に対するご意見をお寄せください。

今回の市民意見募集では、本ビジョンの内容へのご意見・ご感想を募集します。いただいたご意見・ご感想は、本ビジョン策定の際に参考にさせていただきます。また、皆さんが思い描く風景とその実現に向けた取り組み方もぜひお寄せください。

※風景や取り組み方については本紙裏面またはホームページ上の本編をご覧ください。

【意見募集期間】 平成27年2月3日（火）から3月3日（火）まで
（郵送の場合は、当日消印有効）

【意見送付方法】 次のいずれかの方法でご送付ください。

- ① はがき : 下のはがきを切り取り、ご使用ください。[切手不要]
- ② FAX : 045-664-4539 横浜市都市整備局都市デザイン室あて
- ③ 電子メール : tb-toshidesign@city.yokohama.jp
- ④ 持参 : 横浜市都市整備局都市デザイン室（市庁舎6階）まで

【注意事項】

※お電話でのご意見等の受付及びご意見等への個別回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

※ご意見の送付に伴い取得したメールアドレス、FAX番号等の個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理し、ご意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用します。

※いただいたご意見は、個人情報を除き公開される場合があります。あらかじめご了承ください。

郵便はがき

料金を受取人払郵便

231-8790 017

横浜港局 承認

1020

差出有効期間 平成27年3月3日まで (切手不要)

見本

横浜市中区港町1-1
横浜市庁舎6階

都市デザイン PRリーフレットについて

この意見募集のチラシは、都市デザインのPRリーフレットに挟んで配布している場合があります。入手を希望される方は、都市デザイン室までお越しください。



お問合せ先
横浜市都市整備局
都市デザイン室
横浜市中区港町1-1
(市庁舎6階)
TEL 045-671-2023
FAX 045-664-4539
お電話でのお問い合わせ
時間：平日 8:45~17:15

■よろしければ、あなたについて教えてください。
【年齢】 歳代 【居住区】 区

■横浜の都市デザインへの取組をご存知ですか？
 全然知らなかった 言葉は聞いたことがあった
 事例を知っている 取組に関わっている
※いずれかに☑を入れてください

ご協力、ありがとうございました。

これからの横浜を デザインするための羅針盤 横浜都市デザインビジョン（案）【概要版】

意見募集

平成27年2月3日～3月3日



自分の豊かな生活を思い描くこと
それが都市デザインの原点です。

【横浜都市デザインビジョン（案）の詳しい内容について】

「横浜都市デザインビジョン（案）」本編に詳しい内容を記載しています。横浜市都市整備局都市デザイン室ホームページまたは横浜市都市整備局都市デザイン室（市庁舎6階）でご覧いただけます。都市デザイン室ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/design/>

横浜の都市デザインって何？

「魅力と個性のある人間的な都市」の実現を目指す

横浜にとっての都市デザインは、

「魅力と個性のある人間的な都市」の実現を目指し、都市を様々な側面から総合的に捉えて、価値ある風景をつくっていくことです。

横浜の都市デザイン活動は、地域によるシンボルツリーの保全などの身近な活動から、ベイブリッジやみなとみらい21地区の景観形成などの大きなスケールの活動まで幅広く、**大小様々に横浜固有の価値ある風景**をつくっています。

また、横浜の都市デザインは、行政や一部の専門家のみが取り組むものではなく、都心部のみのもでもありません。**自分の生活と横浜をより豊かにしようとする人が主体的に、横浜市全域において取り組むもの**です。また、スケール・分野などの様々な異なる領域を横断し、**長期的視野で取り組むもの**です。

横浜都市デザインビジョンって何？

本ビジョンは、昨今の社会変化などもふまえ、長年取り組んできた都市デザイン活動を再整理し、着眼点や価値観、取り組み方などの大事な要素を抽出してとりまとめ、**これからの都市デザイン活動の羅針盤**となるよう作成したものです。そして、**自分の生活と横浜をより豊かにしようとする人が**、関わるまちの未来を話し合っ計画をつくったり、実現に向けて取り組んだりする際に、**参照し取り入れたり**することを想定しています。

横浜都市デザインビジョンとともに目指すこと

個々が都市横浜の未来の風景を思い描き、共有し、日々実現に向けて主体的に取り組んでいる、そのような状況をつくることを目指します。

||

本ビジョンでは「都市デザイン活動の日常化」と呼びます。

1 都市への着眼点／第1章

風景を想い描くにあたり、どこに着眼すれば良いのか。本ビジョン第1章では、都市への着眼点として「空間」「営み」「感性」を挙げて、その重要性を説明しています。



感性

働きたい 住みたい 訪れたい
楽しい うれしい 心地いい
好き 驚き・・・

営み

働く 住む 商売 観光 娯楽
清掃 会話 移動・・・

空間

建物 街並み 道 広場 駅
港 緑地 海 川 山・・・

2 共有する価値観／第2章

風景を想い描くとき、その風景が都市に実現するとどう良いのか。または、何のためにその風景を想い描き、実現しようとするのか。本ビジョン第2章では、これまで都市横浜が培い、そしてこれからも高めていく価値として5つ挙げています。この価値を共有し、風景の実現に向けて取り組むことで、都市横浜の魅力はさらに向上します。

創造性

人々の気質や技術、企業活動や経済的活力、歴史的建造物や景観などの地域の特徴を活かし、個々の特徴を相互に関連付け、**社会の状況にあわせた先進的な価値を生み出していき、創造性のある都市**

親近感

人と人、人と自然のふれあいなどの場や人々の生活・活動に呼応した快適な街並みが形成され、人々の交流や地域の活動が活発になり、**新たな人やものごととの出会いが生まれる、親近感のある都市**

寛容性

世代や国籍などの人の特徴、様々な住まい方・働き方、それぞれの地域の特徴などが尊重され、**人々による新たな挑戦・失敗を受け入れながら発展していく、懐の深い、寛容性のある都市**

有機的

人々の生活や企業・地域団体などの活動、公共施設や自然環境などの諸要素、都心部・郊外部・他都市などの多様な地域が密接に連携し、**柔軟につながりながら全体として自律する、有機的な都市**

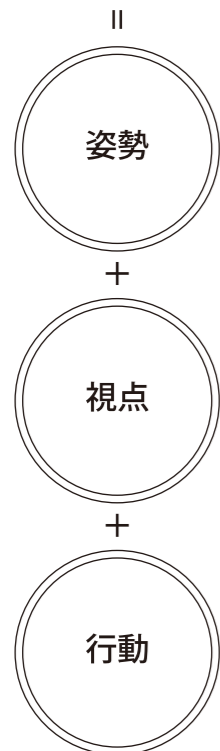
物語性

地形、街並み、自然、暮らし、歴史、文化など、都市横浜の特徴を見出し、各地域や各活動の文脈としてつないでいくことで、**愛着や誇りが生まれ、奥行きのある風土が育まれる、物語性のある都市**

3 取り組み方／第3章

想い描いた風景を実現するにはどうすれば良いのか。本ビジョン第3章では、実現のためのポイントとして取り組み方（姿勢、視点、行動）を掲げ、それらを自ら構築し、取り組み方を明確にする重要性を説明しています。都市デザイン行政としても、「姿勢」「視点」「行動」を掲げ、説明しています。

取り組み方



横浜市（都市デザイン行政）の場合

◎姿勢：舵取りとして臨む

これまで、事例づくりによって都市デザインの有効性を伝える、先導的印象の強かった都市デザイン行政は、これから、個々の活動が都市横浜にとって最適な効果を上げるよう、幅広く関わる舵取りの役割をより意識します。

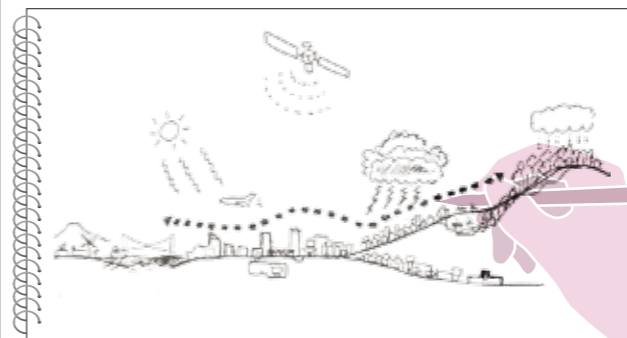
◎視点：5つのことに注視する

つつい当事者だけでは見落としがちで、しかし都市横浜に価値ある風景をつくる上で重要な視点を提示します。
都市全体を俯瞰する／様々な要素をつなぐ／ものごとの本質をつきつめる／持続的な効果をもたらす／変化の余地をのこす

◎行動：日常化プロセスを進める

「都市デザイン活動の日常化」に向けて、都市デザインへの興味・関心の醸成や都市デザイン活動の成果の収集・公開から、制度運用、公共空間の利活用などまで、様々な側面から総合的に日常化プロセスに取り組みます。

風景スケッチブック／別章



「横浜都市デザインビジョン（案）」の本編の別章では、横浜市が想い描いてみた都市横浜の未来の風景のスケッチが記載されています。

みなさんそれぞれも風景を想い描き、取り組み方を考えてみてください。

【横浜都市デザインビジョン（案）の詳しい内容について】

「横浜都市デザインビジョン（案）」本編に詳しい内容を記載しています。横浜市都市整備局都市デザイン室ホームページまたは横浜市都市整備局都市デザイン室（市庁舎6階）でご覧いただけます。

都市デザイン室ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/design/>

1. 本ビジョンについて共感できる場所、重要だと思ふ場所、ご意見のあるところ等をお書きください。

第1章 第2章 第3章

別章 全体

※上記にを入れてお書きください。（複数選択可）

2. あなたが想い描く風景、あなたが取り組みたいことやその取り組み方など、ご自由にお書きください。

キリトリ線

キリトリ線